

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームらぼーる所沢 中富ルーム
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日 ～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	対象者数：23名 回答者数：16名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日 ～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	対象者数：10名 回答者数：10名
○事業者向け自己評価総括表作成日	令和8年3月1日

○分析結果

	事業所の強み（より強化・充実を図ること）	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども・保護者のニーズを踏まえた個別支援計画と、計画に沿った支援が高く評価されている。	面談、日々の観察、ケース記録を通じて状態を把握し、個別活動と集団活動を組み合わせている。	モニタリング時期と評価方法を明確化し、目標の達成状況を保護者と定期的に共有する。
2	安心して楽しく通所でき、支援への満足度が高い。保護者評価では安心・楽しみ・満足が全回答で「はい」。	清潔な生活空間の維持、安全確認、こどもの特性に応じた声掛けと活動設定を行っている。	満足度を維持しつつ、本人の選択・自己決定を活動ごとに記録し、次の支援へ反映する。
3	意思疎通と保護者への情報伝達が良好で、相談・申入れにも迅速に対応している。	送迎時、連絡帳、電話、LINE、ホームページ等を用い、日々の様子や予定を伝えている。	発信媒体ごとの役割を整理し、重要情報・評価結果・安全計画を分かりやすく継続発信する。

	事業所の弱み（課題や改善が必要と思われること）	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもや児童館等との交流機会が少ない。	安全確保や活動時間、利用児の特性への配慮から、事業所外との交流を企画しにくい。	少人数・短時間の地域活動、近隣施設との合同企画、買物・公園活動での地域交流から段階的に実施する。
2	家族支援プログラム、保護者・きょうだい同士の交流機会が十分ではない。	参加希望や開催時間の把握、内容の企画、担当者の確保が不十分。	年1回以上の保護者会、短時間の学習会、相談テーマ別資料の配布を年間計画に位置付ける。
3	人員配置、アセスメント確認、支援前後の役割分担・振り返りにばらつきがある。	利用人数や支援度に応じた配置調整と、会議・記録の標準手順が明確でない。	配置基準表、開始前確認表、終業時共有記録を導入し、全職員参加のPDCAと研修を定例化する。